

令和3年 3月 5日～ 9日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症は鳥羽市民の命と健康、暮らしと営業、地域経済に大きな打撃を与えている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>①感染状況についての市長の現状認識。  ②市民の命を守り抜くために求められている対策。  ③地域経済界が待望している救済対策。  ④コロナ危機を収束させる「オール鳥羽」の取り組み。</p> <p>&lt;市長、教育長及び担当課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 財政論について</p> <p>鳥羽市の財政状況に関して、市民の間には悲観論がある。果たしてそうか。以下の諸点について問う。</p> <p>①市長は令和2年度施政方針で「財政危機を回避すべき」と述べた。 市長はなにをもって「財政危機」の指標としているのか。</p> <p>②新型コロナウイルス禍による地方税収減への対応。</p> <p>③歳入増をめざす課題と対策。</p> <p>&lt;市長及び担当課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の離島振興について</p> <p>新型コロナウイルスによる猛威は、鳥羽市の経済ダメージだけにとどまらず、市民の生命や財産の維持にも影響を及ぼしつつあり、現在非常に厳しい状況下にあると考える。とりわけ、離島においては高齢化率も高く、医療や救急体制にも不安が残ったままである。鳥羽市の with コロナ、after コロナの対策を考える上でも、離島振興施策は重要であると考え。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>①現在の離島振興について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点での離島振興に対する市長の考えは。</li> <li>・離島振興の現状と課題は。</li> </ul> <p>②離島振興法について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本法の適用は令和5年3月31日までとされているが、国への鳥羽市の要望計画は。</li> <li>・三重県の離島振興計画にはどう示されているか。</li> <li>・第6次鳥羽市総合計画における離島振興の位置づけは。</li> </ul> <p>③離島の生命、財産の維持について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート漁業について。</li> <li>・事前防災、減災計画は。</li> <li>・救急を含む医療や消防の体制は。</li> </ul> <p>④今後の離島振興の施策について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な振興策は。</li> <li>・離島住民の声を反映させる政策は。</li> <li>・必要な施策にかかる財源は。</li> </ul> <p>⑤鳥羽市の離島の暮らしや未来における市長の思いは。</p> <p>&lt;市長及び担当課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市民の命と生活並びに財産を守るための地域強靱化に向けた事前防災及び減災対策について</p> <p>東日本大震災から10年という歳月が流れようとしているが、今年の2月13日には、その余震とされる福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生し、各地に甚大な被害をもたらしている。鳥羽市においても、南海トラフ地震の発生が危惧されており、大規模自然災害などに対する事前防災及び減災の取組みが喫緊の課題である。そこで以下の点について問う。</p> <p>①市災害対策本部設置後の活動体制について。</p> <p>②令和2年10月10日、台風14号の影響により被災した妙性寺裏の墓地用地災害復旧について。</p> <p>③鳥羽商工会議所から経営環境基盤整備の強い要望が上がり、鳥羽市から三重県に要望している「安全な船舶運航のための加茂川河口堆積土砂浚渫」の進捗について。</p> <p>④大明西町、大明東町及び安楽島町の一部における大雨による冠水対策としての雨水公共下水道事業計画について。</p> <p>⑤災害時の被害の影響を勘案すると、強靱な水道事業を目指し、基幹管路や重要施設への供給管路を優先的に更新・耐震化を図ることが重要である。管路整備等の中・長期的な対策について。</p> <p>&lt;市長、副市長及び担当課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 女性特有のがん予防対策について</p> <p>子宮頸がんは、女性にとって命に関わる疾患であり、現在でも毎年約 10,000 人が罹患し、約 3,000 人が亡くなっている。HPV は、定期接種であるものの、積極的勧奨差し控え以降、対象者への郵送通知を行なってこなかったため、ワクチンの存在すら知らない対象者も多い。国は市町村には、周知義務があるとしている。そこで以下の諸点についてきく。</p> <p>①子宮頸がん検診受診率及び再勧奨の効果について。  ②子宮頸がんワクチンの実施状況及び接種率について。  ③子宮頸がん予防ワクチン(HVP)ワクチンの正しい情報の周知について。</p> <p>&lt;市長及び担当課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	12番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 社会福祉法が改正され令和 3 年から始まる新たな福祉の体制（重層的支援体制事業）について</p> <p>重層的支援体制整備事業は、既存の介護、障害の介護、障害、子ども、生活困窮の相談支援等の取り組みを活かしつつ、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施するものである。そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>①包括的な相談支援について。 ②地域につなぎ戻していくための「参加支援」について。 ③「地域づくりに向けた支援」について。</p> <p>&lt;市長及び担当課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	14番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市内中小企業(観光関連事業所等)の振興支援策について 市内中小企業(観光関連事業所等)の振興支援策についてきく。</p> <p>①現在の状況の認識を問う。 ②コロナ禍での今後の支援策を問う。 ・売上げ減少の影響を受けている事業者への新たな給付金の支援は。 ・市内消費拡大のための大型プレミアム商品券事業を追加して行う ことができないか。 ③観光客誘致の対策は。</p> <p>&lt;市長、副市長及び担当課長&gt;</p>			